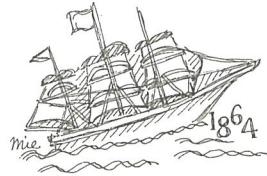


法人部

DOSHISHA REPORT



●第二十九回新島講座

第二十九回新島講座は、五月八日、大学今出川校地神学館礼拝堂で、AKP加盟校・ウィットマン大学のトーマス・エドワード・クロニン学長をお招きして行われた。公開講演は「Paradoxes of the American Presidency」と題して行われた。また、五月九日には今出川校地ハリス理化学館で、「American Presidency: Past and Present」と題したセミナーが行われた。今回の新島講座には、大学の教職員や学生だけでなく、

アメリカ政治学に関心を寄せている一般の方々の参加も多数あり、盛会裡に終わった。



●二〇〇三年春の叙勲・叙位

同志社大学名誉教授浅香 正氏が勲三等旭日中綬章、同志社大学名誉教授永井 三明氏が勲三等瑞宝章をそれぞれ受章され、五月九日国立劇場大劇場で伝達式が行われた。

●二〇〇三年度入社式

四月三日、大学神学館礼拝堂で入社式

が行われた。本年度の採用は、大学教員三十七人、女子大学教員六人、香里中学校・高等学校教員三人、女子中学校・高等学校教員二人、国際中学校・高等学校教員二人、大学職員十人、女子大学職員二人、香里中学校・高等学校職員一人の計六十三人である。大谷實総長と野本真也理事長が歓迎のことばを述べ、野本理事長から一人ひとりに辞令が手渡された。

大学

●九つの研究センターが誕生

社会のニーズに応え、学際的・複合的な先端研究を行うため、今春、研究体制の大幅な改革と整備を図り、九つの研究センターを開設した。各研究センターには本学専任教員の多くが研究員として加わり、内外の著名な研究者を専任フェロー、客員フェローとして多数迎え、世界水準の研究センターをめざしている。各センターが開催したシンポジウム・講演会には、多くの市民が詰め掛け、社会か

らの期待と関心の高さが伺われた。設置された研究センターは次のとおり(三二、三六ページに関連記事)。

- ・ヒューマン・セキユリテイ研究センター
- ・一神教学際研究センター
- ・社会的共通資本研究センター
- ・竹の高度利用研究センター
- ・バイオミメティックス研究センター
- ・技術・企業・国際競争力研究センター
- ・日本会社法制研究センター
- ・メディア・コミュニケーション研究センター
- ・エネルギー変換研究センター

●東京オフィスを開設

二月三日、東京大手町に「同志社大学東京オフィス」を開設した。リエゾンの推進にその目的の一つを置き、産官学連携の深化のため、関西だけでなく、東京にその連携を広げることにより充実した展開を見据えている。

また渋谷の同志社大学東京アカデミー内に置いていた東京地区での就職活動の拠点を、二〇〇三年度から本オフィスに移転している。セミナールームは卒業生への貸し出しも行っている。

●同志社大学育英賞表彰式



二〇〇二年度からスタートした同志社大学育英奨学金奨学生の育英賞表彰式が、二月十三日に行われた。出席した九十人の奨学生全員に八田英二大学長から表彰状が手渡された。この制度は勉学意欲旺盛で、学術・文化・スポーツ・社会貢献などに、優れた成果をあげた学生を対象に三〇万円が給付されるもので、家計に関係なく、努力により誰にでもチャン

スがある新しい奨学金制度。

●新企画Doshisha Spirit Week2003がスタート

同志社大学の歴史や成り立ち、キリスト教主義や新島襄の教育理念、その実践について、建学の精神に触れてもらう新企画「Doshisha Spirit Week 2003」を五月十二日から十七日にかけて、京田辺キャンパスで開催した。講演、シンポジウム、カレッジソングの歌唱指導などの様々な企画に参加した学生は、自らの在籍する大学への関心を深めた。ホームカミングデーに合わせて十一月にも開催する予定。

女子大学

●音楽学科音楽オペラ公演

二月二十二日、新島記念講堂で十六回目の音楽学科オペラクラス公演W・A・モーツァルト作曲「フィガロの結婚」が上演された。「オペラII」の授業を履修している四年次生がキャストを務めることから、同じ演目ながらも毎年違った演

出になっっている。

例年好評を得ており、今年も大雨にもかかわらず立見の来聴者が出るほど盛況で、大成功のうちに終幕した。

●二〇〇三年度学芸学部日本語日本文学 科新入生学外オリエンテーション

四月三日・四日、宇治「花やしき・静山荘」で行った。新入生百八十三人、上級生リーダー十七人、教職員十三人が参加。宇治散策では、源氏物語ミュージアム、平等院などを見学し、その思いを短歌に詠った。新たな友達と教員を交えての登録相談やレクリエーションを通じて親交が深まり、新入生にとっては学生生活への不安を吹き飛ばす貴重な二日間となった。

●二〇〇三年度学芸学部情報メディア学 科新入生学外オリエンテーション

四月三日・四日、奈良「ホテル・ニューわかさ」で行った。新入生百三十人、リーダー十六人、教職員十六人が参加。初日は登録相談やレクリエーションを行った。二日目の奈良公園では、ビデオカメラでクラス別CFを作成し、閉会式で上映・優秀作品の表彰を行った。新入生

にとつては、まさに「メディア」を通じて親睦を深めることのできた有意義な二日間となった。

●二〇〇三年度現代社会学部新入生学外 オリエンテーション

四月三日・四日、新入生四百七十六人、リーダー二十五人、教職員三十人の計五百三十一人が参加。例年通り「リーガルイタルホテル京都」で行った。カリキュラムや履修登録・学生生活の相談等が積極的に行われ、不安の表情が隠せなかった新入生も次第に笑顔の溢れる貴重な二日間となった。

●春季リトリート

五月十七日・十八日、同志社びわこリトリートセンターで春季リトリートが行われ、教職員を含め約七十人が参加。川上盾氏（日本基督教団・東神戸教会牧師）に「隣人を愛する心く豊かなコミュニケーションを求めて」（せっかく生まれきたんやさかい）と題した講演（トーク&ライブ）をしていた。素晴らしい講話や歌に参加者全員感動し、愛と平和の大切さを痛感した。グループトークングでは心を開いて語り合い、参加者

にとつて充実した二日間となった。

●同志社女子大学キャラクター決定



©DWCLA 2003 [VIVI]

同志社女子大学のプレゼンターとして本学オリジナルキャラクターを制作した。

同志社女子大学らしさと在学生・受験生に親しまれることをコンセプトに、多数の応募作の中で最も応募数が多く、また「自主自立・品性と活発なイメージがあり、二十一世紀の本学女性像をアピールしやすい」等の意見があった、「ネコ」を基にしたオリジナルキャラクターを完成させた。

その後引き続き、キャラクター名を学内外から広く募集し、百三十九件の応募

作から、二十一世紀の本学女性像をアピールするキャラクターにふさわしい名前として、本学現代社会学部四年次生長谷川恵子さんの提案した「V.I.V.I（ヴィヴィ）」（元気ではつらつとしたイメージ・躍動的・キビキビした・ハッキリとしたという意味をもつ英単語「Vivid」から引用）に決定した。

高等学校

●校祖永眠記念礼拝

一月二十三日

●入学試験

二月十日、十一日

受験志願者数 二百九十九人

（女子）百二十四人 男子 百七十五人

●卒業式

三月十日

卒業生三百八十人

（男子）百八十六人 女子 百九十四人

●学校スキー

三月十三日～十七日

●入学前オリエンテーション

三月二十四日

同志社中学校生徒

三月二十六日

外部中学校生徒

四月八日

●入学式

四月八日

新入生 四百七人の内、女子 二百九人

男子 百九十八人

外部中学校出身者 八十三人

内、女子 三十四人、男子 四十九人

●二・三年生学カテスト

四月十六日、十七日

●遠足

五月二日

各クラス行き先・班分け・食事のメニューなどすべてクラス討議で決定、実行

●宗教週間

六月二日

▽「ただ神の恵みにより」

森 祐理氏（クリスチャン・アーティスト NHKレポーター）

六月三日

▽「紛争地で感じた無力感」

吉川恭生氏（美術作家・「国境なき医師団」からコソボ等に派遣される）

六月四日

▽「隣人を助ける」

中野敬一氏（日本キリスト教団・奈良高の原教会牧師）

六月五日

▽「花もいろいろ、人もいろいろ」

大澤 宣氏（日本キリスト教団・京都紫野教会牧師）

六月六日

▽「花の命、人の命」

大澤 宣氏

●球技大会

六月十一日



●団体鑑賞

七月十一日

二・三年生のみ劇団「アグリー・ダックリング」の「眠りの切り札」を鑑賞

●救急講演会

七月十四日

各クラブ活動の代表者に救急時の対応を説明。徹底をはかった。

●一年クラス合宿

七月十六日、十七日

各クラスごとに一泊研修を行い、学園祭の計画、立案などを行った。

●一年クラス合宿

七月十六日、十七日

各クラスごとに一泊研修を行い、学園祭の計画、立案などを行った。

祭の計画、立案などを行った。

香里中高

●一月にインフルエンザ大流行

一月中旬から下旬にかけて、インフルエンザが大流行し、中二で学級閉鎖、中三、中一では学年閉鎖された。例年二月での流行はあったが、この時期では初めてのことで対応に追われた。

●漢字検定準二級、高一好成绩

一月三十一日に実施され、全国平均の合格率四十九%を大きく上回る六十六%の成績で学校賞を受賞した。

●中一英語暗唱大会

三月十二日

Dialog 1、2、3のRecitationの部があり、Dialogでは授業で活発な五組がすべて一位を占めた。Recitationは一位早川(三組)、二位鎌田(二組)、同二位鈴木(六組)とすべて男子生徒だった。なかなか聞いていて楽しい催しだった。

●スキー学校

三月十九日～二十三日

野沢温泉、八十五人の参加者中、初めて女子生徒三十二人が参加した。積雪二メートル天気良好、中三男子二人が風邪を引いた以外は、元気に講習に参加した。

●春休み海外研修プログラムすべて中止

イラク戦争突入により、カナダ、アメリカ、サッカー部の英国遠征(2003 Chigwell招待)のすべてが残念ながら中止となった。

●創立者墓参

四月二十三日

中学一年、高校一年が同じ日に実施した。

●高一オリエンテーション

五月一日、二日

莊川高原で、例年とおりのプログラムを実施した。

●大雨で礼拝中止

五月八日

この日は中学の礼拝の日であったが、校舎から香真館(礼拝堂)に至る中庭が膝くらいまで水浸しで、歩行困難になりやむなく礼拝を中止した。

●大学政策学部説明会

五月二十三日

来年度開設の新学部説明会に、大学からスタッフが訪れ、高校三年全員と二年の希望者が参加した。

●教育実習三週間がスタート

五月二十三日～六月九日

本年度から教育実習が三週間となった。

●海外研修プログラムの実施を決定

六月十六日

新型肺炎がほぼ終息したと判断しての決定となったが、カナダのプランは、オーストラリアに振り替えて実施することとなった。

●オープンキャンパス

六月二十二日

昨年 continué また雨となったが、途中から止み、小学生約千人が体験授業を受け、



教室にスペースの余裕のあるところでは保護者も授業に参加し、楽しい雰囲気となった。今回中二の女生徒十九人、中三の男生徒十六人が手伝いに加り、生徒の様子も見てもらった。

女子中高

●卒業式

高校卒業式 二月二十日
中学卒業式 三月二十二日

今年から中学、高校別々に卒業式を行うことになり、それぞれの進路に向かって巣立っていった。

●修学旅行

中学二年生は、三月二十三日から二十五日の二泊三日の日程で安中、東京方面に、高校二年生は、三月二十三日から二十六日の三泊四日の日程で沖繩行きを実施する予定であったが、イラク戦争勃発のため、寸前で取り止めとなった。

●スキー学会

三月二十三日から二十七日まで高校一年生の希望者を対象に、北志賀、竜王で

スキーの講習会を実施した。

●入学式

四月七日
中学校二百四十二人、高等学校二百五十人を迎え、入学式を行った。

●女子部創立記念日

四月二十一日
女子部創立百二十五周年の記念礼拝をもった。礼拝の特別講師には同志社女子中高卒業生の阪田美枝先生をお迎えし、「同志社女子中高で育てられたこと」という題で奨励をしていただいた。

●春季遠足

五月八日
中学二年生から高校三年生が各学年ごとに遠足を行い、クラスの親睦を深めた。

●中学一年生修養会

五月八日～十日
滋賀県国民休暇村近江八幡で「同志社で学ぶ」を主題にして修養会をもった。修養会を通して同志社に学ぶ意義を考えた。

●国際交流

米国サンフランシスコ郊外にあるヌエバスクールとの交流で本校生徒が現地でホームステイをし、ヌエバスクールへの体験入学はイラク戦争勃発のため取り止めとなったが、五月十一日から十六日までヌエバスクール生八人がホームステイし、本校へ体験入学。文化交流し、なご

やかな時を過ごした。

●母の日礼拝

五月十六日は母の日礼拝をもった。カーネーション販売の収益金及び募金はハッセン病救済団体の好善社とIDEA JAPANに送った。

●芸術鑑賞

六月十二日
長岡京記念文化会館で東京芸術座公演による「十二人の怒れる男たち」を観劇した。

●球技大会

高校生は六月十日、中学生は六月二十六日に、球技大会を実施した。バレーボール、ドッジボール、ポートボール、バスケットボールにと覇を競った。中学、高校ともに、昼から雨になって中止となったが、楽しい一日であった。

●花の日礼拝

六月十九日には、聖歌隊の合唱、ハンドベルの演奏による賛美礼拝をもち、二十日には、花を持ち寄って飾り、花の日の礼拝をもった。その日の午後、花と募金を持って、京都市内を中心とする養護施設、老人ホーム、病院、保育園等二十四カ所を高校一年生が訪問し、交流をも

った。



●音楽鑑賞

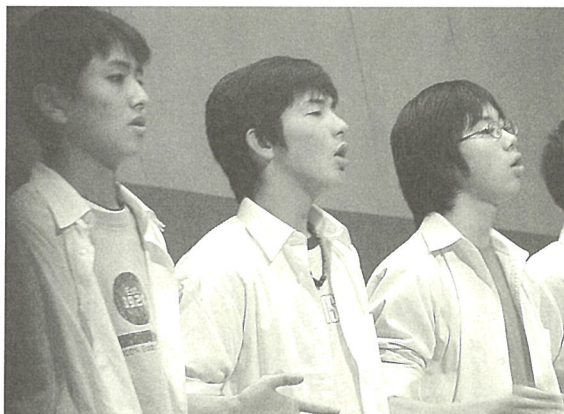
七月三日
米国サンノゼ・ユース・シンフォニー
来校、ホームルーム時、栄光館で演奏を
聞いた。

国際中高

中学合唱フェスティバル

二月十五日

恒例になった京田辺市の一人暮らしの
老人の会「むつみ」の皆さんをお招きし
て、華やかな中にも心温まる楽しい一日
となった。



●卒業式

中学校

三月十九日

高等学校

三月十二日

それぞれが希望を胸に、学び舎を巣立
って行った。

●中学二年生

長崎研修旅行

高等学校二年生

沖縄研修旅行

ともに三月十四日～十七日

一年間かけて十分に築きあげてきた
「平和学習」の集大成として現場で確認
し、自分たちの思いを「平和宣言」に託
した。

●入学式

四月四日

●宿泊研修

中学校 五月八日～九日

高等学校 五月六日～七日

新入生の生徒たちが、同志社で学ぶこ
との意味を考えながら、新しい友達と共
に生きることを学んだ。二日目には校祖
墓参を行い、入学と学校生活の決意を校
祖の墓前に報告した。

●花の日礼拝

六月六日

花の日礼拝を持った。多くの募金が寄
せられ、京田辺市内の公共施設を訪問し、
交流を持った。

●高等学校球技大会

中学校遠足

六月十一日

一年生 宇治・天ヶ瀬ダム方面

二年生 嵐山方面散策

三年生 山城森林公園飯盒炊きさん

高等学校はクラス対抗形式のバレーボール大会を、中学校は学年ごとに遠足を実施した。梅雨の時期で天候が心配されたが、薄曇りの過ごしやすい一日となり、教育実習生も加わり楽しい一日を過ごした。

中学校

●合唱祭

二月二十一日

各クラスとも、クラス全体が一つとなり素晴らしい合唱を披露した。

●卒業式

三月十九日

卒業生三百二十三人

(女子百七十六人 男子百四十七人)

●入学式

四月四日

新入生三百二十四人

(女子百六十六人 男子百五十八人)

●新入生オリエンテーション・キャンパス

●創立者墓参

四月二十三日～二十五日

同志社びわこリトリートセンターで一日二日のキャンパスと墓参を二期に分けて行った。

●遠足(二・三年生)

四月二十五日

二年生は滋賀県志賀町の松の浦キャンプ場で、三年生は滋賀県希望ヶ丘で飯盒炊きさんを行った。

●一年生保護者のための学校生活案内の集い

五月十二日

教科、校務からの説明と施設クラブ見学を行った。

●又エバスクール生との交流

五月十二日～十六日

交流も三年目を迎え、サンフランシスコの又エバスクールから男子四人、女子三人が本校を訪問。授業やクラブ活動に参加するなど生徒同士交流を深めた。

●生徒大会

五月十六日

今年度の生徒会の活動方針と予算案が提案され承認された。交換で訪れている又エバスクール生も参加し、記念品が贈呈された。

●春季宗教週間

六月二日～六日

●三日「同志社のキリスト教」

四日「我々皆にある幸せ」

吉川恭生先生(美術作家兼国境なき医師団ロジスティシャン)

五日「叫びが聞かれる」

中野敬一先生(高の原教会牧師)
六月七日
森 祐理先生(福音歌手)

●オープンキャンパス

六月七日



竹トンボ作りを体験

二千五百人を超える小学生、保護者を迎えた。礼拝体験やコンピュータ教室やしし教室での模擬授業、クラブ活動や施設見学、入試相談コーナーなども設けられ、どのコーナーも賑わった。

●花の日礼拝・施設訪問

六月十日

「イエスと子供たち」

越川弘英先生（同志社大学キリスト教文化センター専任講師）

放課後、持ち寄られた花を持って船岡寮を生徒会執行委員、ホザナコーラス部、宗教ハンドベル部、ピースリンク部の生徒が訪問した。

●英語暗唱大会

六月二十日

●ミュージック・シエアリング♪第二回 オーケストラ訪問♪

七月四日

対象団体に選ばれた本校管弦楽部は、バイオリニストの五嶋みどりさんとピアノの及川浩治さんをチャペルに迎え、約一時間の交流を持った。

部員六十人の演奏する『カレツジソング』、アンダーソンの『シンコペータックドクロック』、スッペの『軽騎兵序曲』を聴いていただいた後、お二人の演奏『ロマンズ』と『チゴイネルワイゼン』

を間近で聴かせていただいた。一流の演奏家に接した部員たちは音楽に対する厳しさと音楽を楽しむ心を学んだようだ。

（クラブページに写真）

幼稚園

●焼き芋パーティー

一月二十二日

園庭でたき火をし、全園児で焼き芋を作って食べた。

●一月お誕生日会

一月二十三日

午前中は教員たちが劇や合奏をし、午後は誕生日を迎えた園児と父母、教員が昼食を共にし、ケーキにローソクを灯してお祝いした（毎月一回行う）。

●参観日

二月三日〜十二日

自由遊び、クラスの設定保育の様子を父母に見ていただいた。

●おもちつき

二月十三日

親子でホールに集まり、おもちをつけて、きな粉やあんこでおいしく食べた。

●園外保育

二月二十日

全園児で防災センターへ出かけ、火事や地震体験をし、映画を観た。

●マラソン大会

二月二十四日

全園児で御所へ行き、マラソンを楽しんだ。

●お店屋さんごっこ

二月二十七日

各クラスで作った首飾りや紙粘土の団子等、品物を並べ、店員と客に分かれて全園児で買い物を楽しんだ。

●移動動物園

二月二十八日

園児が野菜や果物を持参し、園庭でヤ



ギ、ヒツジ、ウサギ、ハムスター等多くの動物と触れ合い、過ごした。

●人形劇

三月三日
全園児で劇を観て楽しんだ。

●レストランごっこ

三月五日
クッキングをし、全園児でサンドイッチやせんざいを食べた。

●お茶会

三月十日
森田潤司女子大学長を一日園長に迎え、年長組が父母をお菓子やお茶でもてなした。

●卒業礼拝

三月十一日
年長組親子が同志社礼拝堂で礼拝をした。

●保育修了式

三月十四日
年長組（四十七人）の園児が証書を読んだき、お別れの言葉や歌を歌った。

●入園式

四月十一日
三才児四十七人、四才児七人が入園。

●園児大会

五月九日
年長組園児が植物園で自然に触れ、楽しんだ。

●懇談会

五月十二日～十五日
年間目標や子どもの様子、取り組みについて意見交換を行った。

●遠足

五月二十日
動物園へ（年少組親子）

宝ヶ池子どもの楽園へ（年長組園児）

五月二十二日 植物園へ（年中組園児）

●参観日
六月二日～六日
保育を父母に観ていただいた。

●同窓会

六月六日
午後、卒園生（小学一年生）が集まり、ゲームをし、おやつを食べて過ごした。

●開園記念バザー

六月十四日
園児や卒園生、近所の方など、ゲームや買物を楽しんでいた。

●開園記念礼拝・花の日礼拝

六月二十日
園児たちが花を持参し、感謝の礼拝を行い、一日園長として同窓会長の篤淵紹子先生をお迎えした。

●ジャガイモほり

六月二十四日
年長組親子で北山の畑へ出掛けた。